

I 万国博覧会の歴史について述べた次の文章を読んで、問1～問6に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

多くの産物を集めて人々に見せる催しである「博覧会」は古代から様々な形で行われていたが、近代に入ると産業技術の展示会としての博覧会がヨーロッパ諸国で盛んに行われるようになった。世界各国が参加する最初の万国博覧会（以下、万博と略）は1851年にイギリスのロンドンで開催された。会場の A 水晶宮（クリスタルパレス） とそこに展示された製品は産業革命の成果を誇示するものであり、多くの来客があり成功を収めた。これに刺激を受けたフランスなど各国でも万博が開催されるようになった。

1862年の第2回ロンドン万博では日本からの正式の出品はなかったが、イギリス初代駐日公使を務めたオールコックは自身で集めた日本の品々を展示して人々の関心をひき、また当時ヨーロッパを訪問していた幕府使節団も万博を見学した。この使節団に加わっていた福澤諭吉は『西洋事情』で「博覧会」の賑わいを記している。1867年の第2回パリ万博は B ナポレオン3世 が統治するフランス第二帝政の成果を誇るものとして大々的に開催され、また日本が初めて正式に参加した万博としても知られる。

1873年には、C オーストリア のフランツ＝ヨーゼフ1世の在位25年を記念してウィーンで万博が開かれた。またウィーン万博は明治政府が初めて参加した万博であった。1889年に開催された第4回パリ万博ではシンボルとしてエッフェル塔が建設されたが、同時にフランスの植民地であるアルジェリア、チュニジア、カンボジア、D ベトナム（アンナン、コーチシナ、トンキン） などのパビリオンも建設された。その中には、フランス領セネガルや E ニューカレドニア などから連れてきた先住民を柵で囲われた集落で生活させる「人間の展示」もあった。

その後も万博は開催されていくが、第一次世界大戦以降の国際関係の影響は万博にもおよんだ。1937年の第7回パリ万博ではドイツ館とソ連館が向きあって競いあうように建てられ、スペイン共和国館ではスペイン内戦におけるドイツ軍の空爆をあつかったピカソの「ゲルニカ」が展示された。日本でも万博への参加や開催計画は国内問題や国際情勢に影響された。

一方、F 1970年に大阪で開催された万博では、多くの企業が個性的なパビリオンを出展して日本の高度経済成長を象徴するイベントとなるなど、万博はその国の経済力を示すものともなっている。 このように万博を通じて、私たちは世界と日本の歴史を知ることができる。

問1 下線部Aに関連して、次の文章を読んで、文章中の空欄（ア）～（ウ）に入る人名を、下の1～9の中からそれぞれ選びなさい。

アの解答は解答欄 〔1〕 に、 イの解答は解答欄 〔2〕 に、 ウの解答は解答欄 〔3〕 に、
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

水晶宮は、当時イギリスで大量に生産されるようになった鉄とガラスを使って建築された。鉄の大量生産は、コークス製鉄法が（ア）によって実用化されることで可能となった。水晶宮を会場とするロンドン万博には鉄道を利用して多くの観客が訪れたが、鉄道は鉄の大量生産に加え、（イ）が客車・貨車を牽引できる蒸気機関車を開発したことで急速に発達した。（ウ）が発明したミュール紡績機も蒸気機関を使って大量生産が可能のように改良されたが、それは同時に多くの単純労働者を生み出すことにもなった。

- | | | | | |
|-----------|------------|-------------|-----------|--------|
| 1. クロンプトン | 2. ジョン＝ケイ | 3. スティーヴンソン | 4. ダービー | |
| 5. ニューコメン | 6. ハーグリーブズ | 7. フルトン | 8. ホイットニー | 9. ワット |

問2 下線部 B に関連して、サルデーニャ王国はナポレオン3世統治下のフランスと接近するなどしてイタリア統一を進め、イタリア王国を成立させた。その後、イタリア王国と教皇庁とは対立するようになったが、その対立は20世紀前半に解消された。イタリア王国と教皇庁とはなぜ対立し、その対立はどのように解消されたか、対立が解消された際のイタリア王国の首相名に言及しつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

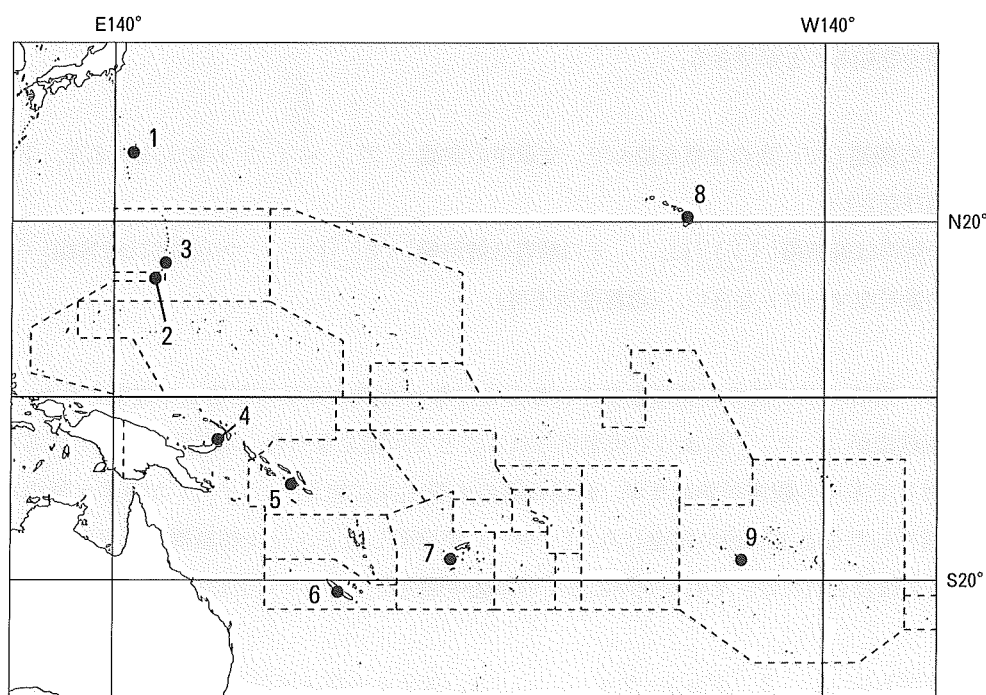
問3 下線部 C に関連して、プロイセン=オーストリア戦争後にオーストリア=ハンガリー帝国が成立した経緯について、プロイセンとの関係に触れつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問4 下線部 D に関連して、フランスは19世紀半ば以降、ベトナム全土を支配下においていったが、そのことは19世紀後半にフランスとある国との戦争を引き起こした。その戦争へ至る経緯と結果について、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問5 下線部 E に関連して、次の文章を読んで、文章中の下線部 α および空欄 (β), (γ), (δ) の場所として最も適切な位置を、下の地図中の1～9の中からそれぞれ選びなさい。

α の解答は解答欄 (4) に、 β の解答は解答欄 (5) に、 γ の解答は解答欄 (6) に、
 δ の解答は解答欄 (7) に、
 その番号をマークしなさい。(重複使用不可)

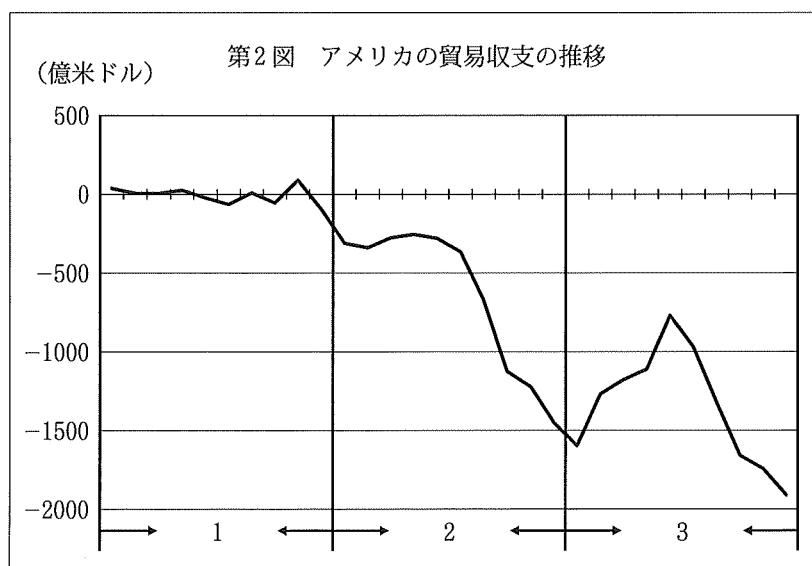
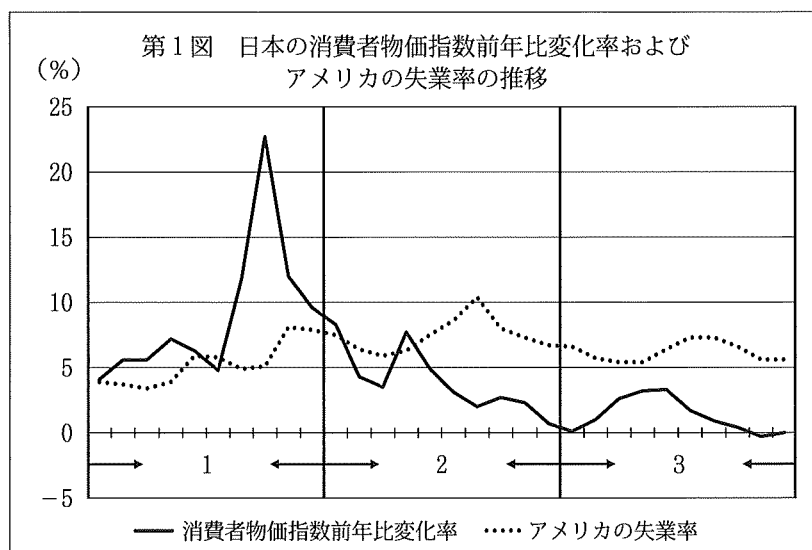
α ニューカレドニア島を含む太平洋地域には、18世紀にイギリス、19世紀にドイツとフランスが進出した。またアメリカはアメリカ=スペイン戦争の結果フィリピンと (β) を獲得し、さらに (γ) を併合した。日本も第一次世界大戦後、大戦中に占領したドイツ領南洋諸島の一部の委任統治を国際連盟から認められた。遅れて太平洋に進出したアメリカと日本は太平洋戦争勃発後、太平洋の島々で激しい戦闘を繰り広げた。特に (δ) が陥落したことはそれまで戦争を遂行してきた日本の内閣の交代につながった。そして、アメリカ軍は (δ) などから日本本土への空襲を本格的に開始した。



備考：国境線は現在のもの。

問6 下線部 F に関連して、次の第1図、第2図は、大阪万博が開催された年を含む、ある30年間の日本の消費者物価指数前年比変化率、アメリカの失業率、アメリカの貿易収支の推移をグラフ化したものである。図の横軸の1～3は、10年ごとの区分（2つの図で共通に設定）である。下のa～cの出来事が起きた時期を、図の1～3の中からそれぞれ選びなさい。ただし、a～cの出来事が起きた時期が1の時期より前の場合は0を、3の時期より後ろの場合は4を選びなさい。

aの解答は解答欄 (8) に、 bの解答は解答欄 (9) に、 cの解答は解答欄 (10) に、その番号をマークしなさい。（重複使用不可）



〔資料出所〕 e-Stat（消費者物価指数前年比変化率，持家の帰属家賃を除く総合指数，平成22年基準），U.S. Department of Labor, Bureau of Labor Statistics（アメリカの失業率），U.S. Department of Commerce, Bureau of Economic Analysis（アメリカの貿易収支）より作成。

- a. ニューヨークで開催された先進5か国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）でドル高是正が合意された。
- b. リーマン=ブラザーズが経営破綻して、世界的な金融危機が生じた。
- c. 6か国による先進国首脳会議がパリ近郊のランブイエで初めて開催された。

Ⅱ 国連気候変動枠組条約締約国会議について述べた次の文章を読んで、以下の問7～問9に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

2022年11月、エジプトの A シャルム=エル=シェイクにおいて、国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）が開催された。会議では、2016年に発効された「パリ協定」の重要性が確認されるとともに、前年にイギリスの B グラスゴーで開催されたCOP26で採択された「グラスゴー気候合意」の内容を踏襲しつつ、締約国における気候変動対策の強化を求めることが決定された。また、C 技術開発、農業、気候変動とジェンダー等の幅広い議題についても議論された。

問7 下線部 A に関連して、次の文章を読んで、以下の①～④に答えなさい。

シナイ半島にあるシャルム=エル=シェイクは、スキューバダイビングの名所として知られるリゾート地である。もともと、同地には、アカバ湾を守るための軍事上の要衝としてエジプト軍の基地が置かれていた。その後、α スエズ戦争と第三次中東戦争でイスラエルに占領され、β ユダヤ人による入植とともにリゾート開発が始まった。1982年、シナイ半島が返還されたことにより、この地は再びエジプトの領土となった。リゾート開発は、エジプトによって引き継がれ、現在、この地の γ インバウンド需要は同国における重要な外貨収入源の1つとなっている。

- ① 下線部 α について、イギリスとフランスが戦争をおこした動機について、第一次中東戦争以降のエジプトの政治・経済の状況に触れながら、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- ② 次の a～c の文章は、下線部 β に関連する著作・書簡等の日本語訳から抜粋したものである（必要に応じて表現を改めた）。それぞれの執筆者の組み合わせとして適当なものを、次の1～6の中から選びなさい。

解答は解答欄 (11) に、その番号をマークしなさい。

a

今日一つの国の基礎を作ろうとすると、数千年も前に唯一可能であったようなやり方で行なってはなるまい。多くのシオニストが望んでいるように、古い文化の段階に立ち戻ろうとするのは愚かなことだ。（中略）我々は建物を建てようとするときに、海辺に頼りない杭上家屋を建てたりはせずに、今やっているような仕方で建てるであろう。今までに行なわれた以上に思い切った、堂々たる建て方をするだろう。というのは、我々は、歴史上いまだかつてなかったような資力を持っているからである。経済的に最も下層に属する人々のあとに続いて、次にそのすぐ上に位置する人たちが徐々に移住して行く。今絶望している者たちが最初に出かける。彼らは、我々が過剰に生み出し、随所で迫害を受けている中流のインテリたちによって指導されるのだ。

b

「国王陛下の政府はパレスチナにおいてユダヤ人のための民族的郷土^{ナショナル・ホーム}を設立することを好ましいと考えており、この目的の達成を円滑にするために最善の努力を行うつもりです。また、パレスチナに現存する非ユダヤ人諸コミュニティの市民および信仰者としての諸権利、ならびに他のあらゆる国でユダヤ人が享受している諸権利および政治的地位が侵害されることは決してなされることはない」と明確に理解されています。」
貴下がこの宣言をシオニスト連盟にお知らせいただけましたならば光栄に存じます。

c

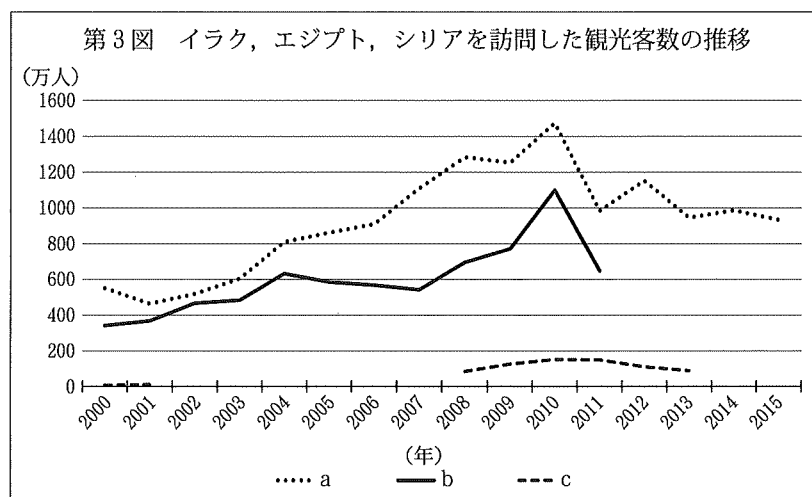
私はデュ＝パティ＝ド＝グラム中佐を弾劾する。中佐は、無意識にそうしたのであってほしいが、誤審のおそるべき仕掛け人となった。しかもその後、三年にわたり、自らがなした有害な成果を、突飛で罪深いことこの上ない陰謀の数々を用いて守りつづけている。(中略)

私はビヨ將軍を弾劾する。將軍はドレフュス無罪の確たる証拠を手にしながらそれを握りつぶした。くわえて、政治目的のため、そして事件に巻き込まれた参謀本部を救うため、人道冒瀆と正義冒瀆という重罪を犯した。

(資料出所はいずれも省略する。)

- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| 1. a = ゾラ | b = バルフォア | c = ヘルツル |
| 2. a = ゾラ | b = ヘルツル | c = バルフォア |
| 3. a = バルフォア | b = ゾラ | c = ヘルツル |
| 4. a = バルフォア | b = ヘルツル | c = ゾラ |
| 5. a = ヘルツル | b = ゾラ | c = バルフォア |
| 6. a = ヘルツル | b = バルフォア | c = ゾラ |

- ③ 下線部 y に関連して、次の第3図は2000年から2015年にイラク、エジプト、シリアを訪問した観光客数の推移を示したものである。図中の a～c はイラク、エジプト、シリアのいずれかを示す。a～c が示す国名の組み合わせとして適当なものを、下の1～6の中から選び、その番号を【解答用紙B】の所定の欄に記入しなさい。



〔資料出所〕 World Tourism Organization, Yearbook of Tourism Statistics, Compendium of Tourism Statistics and Data Filesより作成。〔備考〕折れ線グラフが途切れている年はデータが欠損していることを表す。

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. a = イラク | b = エジプト | c = シリア |
| 2. a = イラク | b = シリア | c = エジプト |
| 3. a = エジプト | b = イラク | c = シリア |
| 4. a = エジプト | b = シリア | c = イラク |
| 5. a = シリア | b = イラク | c = エジプト |
| 6. a = シリア | b = エジプト | c = イラク |

- ④ 上の③の解答を導き出した理由を、2000年以降の第3図中のbとcの政治情勢に触れながら、【解答用紙B】の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問8 下線部Bに関連して、次の文章を読んで、以下の①、②に答えなさい。

グラスゴーで医学と神学を学んだ（ a ）は、宣教師としてアフリカに赴き、布教活動と探検を行った。（ a ）は探検中に消息を絶ったが、『ニューヨーク=ヘラルド』専属の特派員である（ b ）が捜索に派遣され、タンガニーカ湖近くの町で無事に発見された。（ b ）は、その後、コンゴ川流域を探検し、αヨーロッパ諸国によるコンゴ領有への道を開いた。

① 文章中の空欄（ a ）、（ b ）に入る人名を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

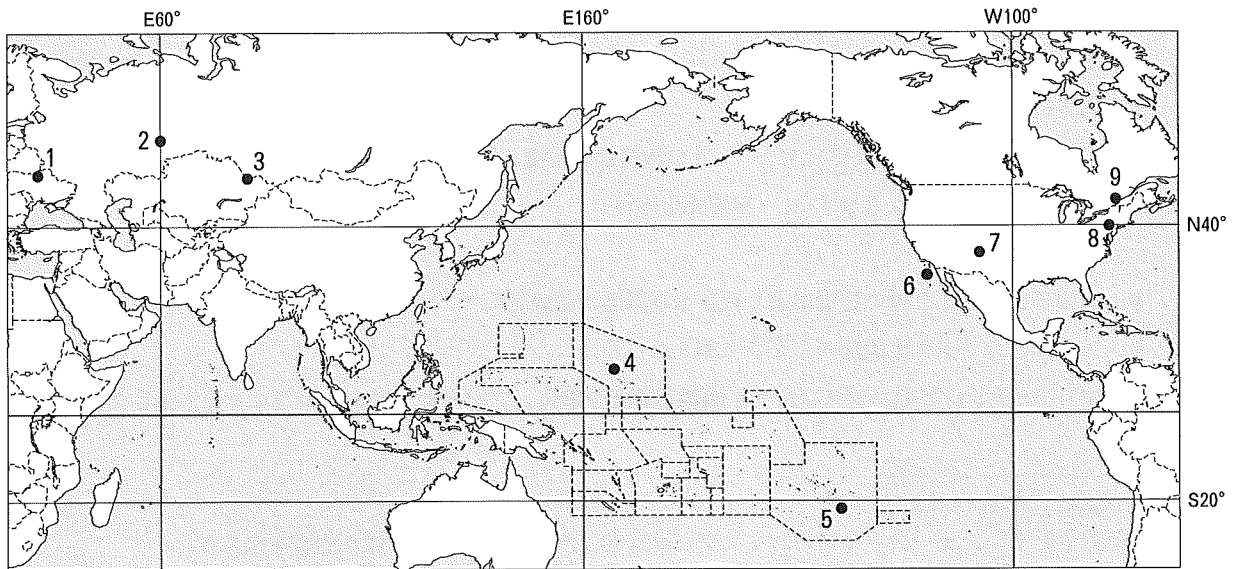
② 下線部αについて、ベルギー王レオポルド2世は文章中の空欄（ b ）の人物を雇い、私的組織としてコンゴ国際協会を設立し、コンゴ川流域の支配を進めた。アフリカ分割が話し合われたベルリン会議の結果、コンゴ国際協会の支配領域はどうなったか。領有権の所在に触れながら、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問9 下線部Cに関連して、次の文章中の空欄（ a ）～（ c ）に入る地名の位置として適当なものを、下の地図中の1～9の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄〔12〕に、 bの解答は解答欄〔13〕に、 cの解答は解答欄〔14〕に、
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

20世紀は、人類が原子力という新たなエネルギーを手に入れた世紀である。エネルギーとしての原子力はまず兵器として使われ、第二次世界大戦中に広島と長崎に原子爆弾が投下された。その後、水素爆弾が開発され、相次いで実験が行われた。1954年3月には、アメリカが（ a ）において行った水素爆弾の実験で、近隣の島民や第五福竜丸の船員が被爆した。第二次世界大戦後には、原子力発電の開発が進み、原子力が電力供給において重要な地位を占めるようになった。しかし、1979年には（ b ）の発電所2号機で原子炉を冷却できない事態となり、メルトダウンと放射性物質の放出を伴う事故が起きた。1986年には（ c ）の発電所で核分裂反応を制御できない状況となり、原子炉の爆発を伴う甚大な事故が起こった。これにより大量の放射性物質が放出され、国境を越えて周辺地域が汚染された。今世紀に入ってもなお重大事故が発生している。2011年に東京電力福島第一原子力発電所で深刻な事故が発生し、現在も廃炉に向けた作業が続いている。

このようにリスクが未だに解消されていない状況の中で、原子力発電をクリーンエネルギーとして見直す動きも起こっている。その背景には、データセンターの建設等による電力需要の高まりがある。2024年9月、停止中の（ b ）の発電所1号機を再稼働させ、大手IT企業にデータセンター向けの電力を供給するという契約が交わされた。電力需給の問題と環境問題、さらには原子力制御の問題をどう解決していくかが人類に問われている。



備考：国境線は現在のもの。

Ⅲ 北アメリカ大陸の歴史について述べた次の文章を読んで、問10～問13に答えなさい。 解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙 A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

ニューイングランド地方では、17世紀にイギリスの宗教的迫害を逃れたピューリタンらによりプリマスやマサチューセッツ湾植民地が建設され、その後、その南にはペンシルヴェニア植民地などが建設された。こうしたイギリスからの植民活動や植民地建設は、先住民や A フランスをはじめとするヨーロッパ列強を交えた領土や交易をめぐる争いを引き起こした。一方、これらの植民地では、林業、漁業、海運・造船業、商業が栄え、イギリスとの貿易が発展した。西インド諸島との植民地間貿易も活発に行われ、ニューイングランド地方から輸出された木材や食料は、西インド諸島における製糖業の発展を支えた。また、西インド諸島産の糖蜜から作られたラム酒はアフリカに輸出され、その対価として西インド諸島には奴隷が輸入された。いわゆる B 大西洋奴隷貿易である。

アメリカ独立後の北部諸州では、順次 C 奴隷制が廃止され、労働力は移民に依存するようになった。移民による労働力は、ニューイングランド地方から始まったアメリカ産業革命を加速させ、D 西部開拓によって拡大した国内市場での需要もまた北部の製造業の成長を支えた。

問10 下線部 A に関して、イギリスとフランスは北アメリカ大陸で争いを繰り広げたが、その争いはヨーロッパでの争いとも関係したものであった。次の a～c の出来事が起きた時期を、下の年表中の空欄 1～5 の中からそれぞれ選びなさい。

a の解答は解答欄 (15) に、 b の解答は解答欄 (16) に、 c の解答は解答欄 (17) に、
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)

- a. エカチェリーナ 2 世の提唱により武装中立同盟が結成された。
- b. カナダとルイジアナ東部がイギリス領となった。
- c. マリア=テレジアのハプスブルク家領継承問題を機に、プロイセンがシュレジエンを占領した。

1

長く対立していたオーストリアのハプスブルク家とフランスのブルボン家が同盟を結んだ。

2

イギリス議会でアメリカ植民地を対象とする印紙法が成立した。

3

フィラデルフィアで第 1 回大陸会議が開かれた。

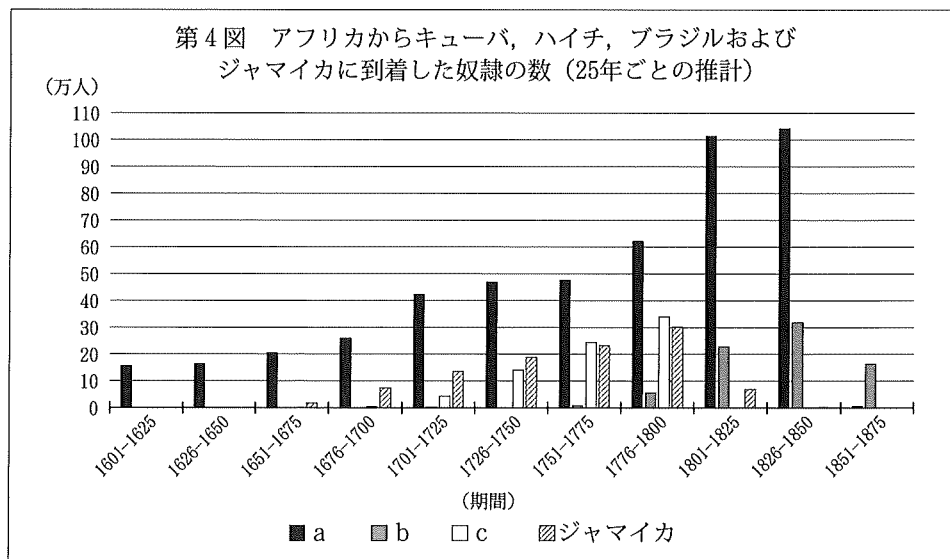
4

アメリカ合衆国憲法が制定された。

5

問11 下線部 B に関連して、以下の①、②に答えなさい。

- ① 次の第 4 図は、1601年から1875年に、アフリカからキューバ、ハイチ（サン=ドマング）、ブラジルおよびジャマイカに到着した奴隷の数（25年ごとの推計）を示したものである。図中の a～c はキューバ、ハイチ、ブラジルのいずれかを示す。a～c が示す国や地域の組み合わせとして適当なものを、下の 1～6 の中から選び、その番号を〔解答用紙 B〕の所定の欄に記入しなさい。



〔資料出所〕 Trans-Atlantic Slave Trade Estimates, Slave Voyages より作成。

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. a = キューバ | b = ハイチ | c = ブラジル |
| 2. a = キューバ | b = ブラジル | c = ハイチ |
| 3. a = ハイチ | b = キューバ | c = ブラジル |
| 4. a = ハイチ | b = ブラジル | c = キューバ |
| 5. a = ブラジル | b = キューバ | c = ハイチ |
| 6. a = ブラジル | b = ハイチ | c = キューバ |

② 上の①の解答を導き出した理由について、奴隷貿易およびカリブ海地域に関わる出来事に触れながら、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問12 下線部 C に関連して、黒人への差別、分離政策は20世紀以降もアメリカを含む世界各地で継続した。次の資料 a～c は、黒人解放運動を主導した人物のスピーチの日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料 a～c を古い順に左から並べたものとして適当なものを、下の 1～6 の中から選びなさい。

解答は解答欄 (18) に、その番号をマークしなさい。

1. a b c 2. a c b 3. b a c 4. b c a 5. c a b 6. c b a

a

戦いはやっと終わりました。皆さんの愛する国ガーナはここに永久に自由になりました。（中略）今日そして今後、世界に新しいアフリカ人が存在します。この新しいアフリカ人は自己の戦いをする準備、黒人は自分の問題を処理することができる用意が最終的にできています。……私たちはアフリカ人自身のパーソナリティとアイデンティティを創造しようとしています。これは私たちが自己の運命の主人公であると世界に示す唯一の方法です。……私たちは闘ってきました。さらにアフリカの他の国々を解放する闘争に再び立ち上がりましょう。なぜなら、私たちの独立は、アフリカ大陸の全面的な解放と結びつかなければ、意味がないからです。

b

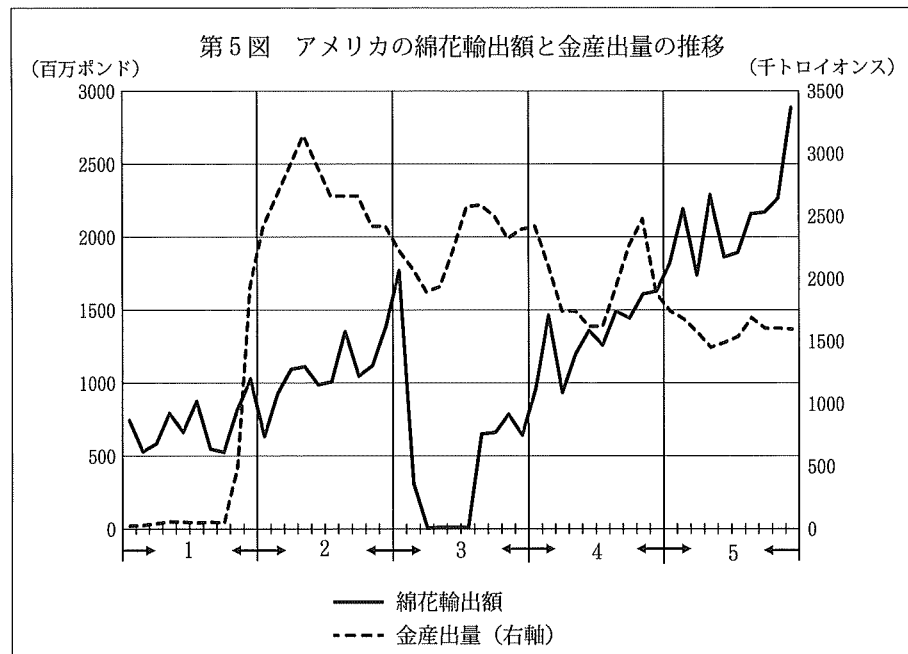
19世紀が終わろうとする今年、現代の世界の中心都市に、アフリカ人の血を引く男女が集合し、人類の中で肌の黒い人種の現状と展望に関する厳粛なる討議を、まさに始めようとしております。20世紀の問題は皮膚の色の境界線の問題になります。カラーラインの問題とは、人種の差異が（中略）近代文明の機会と特権を共有する権利を、最大限どれほど、世界の過半数を占める人々に拒否する基盤になりうるのかということです。（中略）とにかく現代世界では、世界の果てが相互に隣接するようになってきているのでありまして、（中略）その人数からも、その直接的接触からも、肌の色の黒い人種は、未来において世界に多大な影響を及ぼすようになるのであります。

c

釈放されたこの日に、私のために運動をし続けてくださった何百万人もの同胞や世界各地にいる仲間の皆さんに心からの厚い感謝の辞を申し述べます。（中略）私たちは国際社会に対しても、アパルトヘイト政権を孤立させるためのキャンペーンを続けるよう要請しています。（中略）自由への行進は後戻りができません。（中略）すべての選挙民の参加による普通選挙は、平和と人種の融合を導くための唯一の方法なのです。結論として、私は（中略）裁判において私自身が述べた言葉を引用したいと思います。（中略）「私は白人支配に反対して闘ってきましたが、黒人支配にも反対して闘ってきました。私はすべての人びとがともに仲睦まじく暮らし、平等な機会が与えられるような、民主的で自由な社会という理想を大切にしてきました。これこそが私が生涯をかけて達成したいと願っている理想なのです。（後略）」

（資料出所はいずれも省略する。）

問13 下線部Dに関連して、次の第5図は、19世紀のある50年間におけるアメリカの綿花輸出額と金産出量をグラフ化したものである。図の横軸の1～5は、10年ごとの区分である。これについて、以下の①～③に答えなさい。



〔資料出所〕 Historical Statistics of the United States, Colonial Times to 1970より作成。

- ① 図中の3の時期に綿花輸出額が急落している理由について、当時の主な輸出先に触れながら、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- ② 図中の1の時期に金産出量が急増した理由について、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- ③ 次の資料a～dは、アメリカで制定された法や協定、国務長官による宣言の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料a～dが制定されたまたは発せられた時期を、図の1～5の中からそれぞれ選びなさい。ただし、その時期が1の時期より前の場合は0を、5の時期より後ろの場合は6を選びなさい。

aの解答は解答欄 に、 bの解答は解答欄 に、 cの解答は解答欄 に、

dの解答は解答欄 に、

その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

a

合衆国政府が熱望することは……「利益範囲」を主張する諸国が、かかる「範囲」内で、あらゆる国ぐにがそれぞれの通商と航行に関する完全に平等な扱いを受けることを公式に承認し、これから生じる疑問の余地ない利益が、中国におけるすべての国ぐにの通商に対して保証されることである。

b

中国人労働者のアメリカ合衆国への流入が、領域内の土地において守られるべき秩序を危険にさらしているとのアメリカ合衆国政府の判断により、召集された連邦議会の上院および下院は、以下の法律を定める。(中略)

第1条 本法律の制定の90日後以降、また、本法律が10年後に失効するまでの間、アメリカ合衆国への中国人労働者の入国を停止する。この停止期間にあつては、いかなる中国人労働者の入国も違法であり、また、先の〔法律制定の〕90日後以降に入国した者がアメリカ合衆国国内に留まることも違法である。(中略)

第14条 これ以降、州法廷およびアメリカ合衆国法廷は、中国人に市民権を認めてはならない。本法律に抵触するすべての法律は、これにより無効にする。

c

何人も、一家の長か21歳に達した者で合衆国市民である者(中略)は、(中略)1区画として存在し、公有地の正式な分割法に合致し、測量の完了した土地であつて、同人がすでに先買権の請求をおこなっているか、あるいは申請時において1エーカー1ドル25セントまたはそれ以下の価格で先買権の対象とされている4分の1セクション〔160エーカー〕またはそれ以下の面積の未占有の公有地(中略)に入植する権利を認められる。(中略)

本法のいかなる規定も、本法第1項の適用を受けた人物が、法律により定められた他の事例と同様、入植した土地について、5カ年の経過以前に先買権を付与する現行の法律の規定にしたがつて定住と耕作の事実を証明し、最低価格またはその変更された価格を支払うことによって政府から公有地譲渡証書を取得することを妨げるものではない。

d

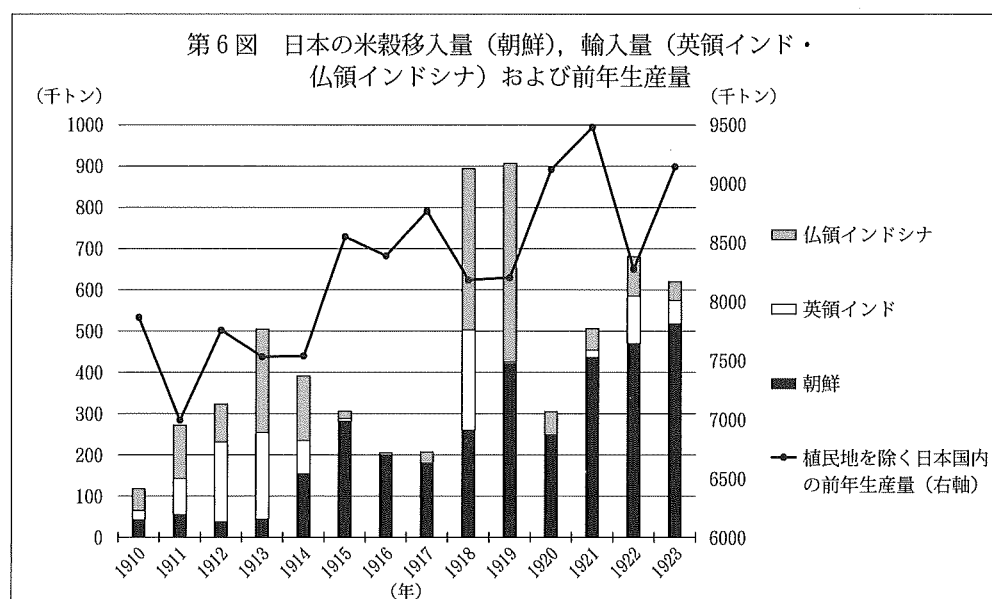
ルイジアナの名称の下にフランスから合衆国に譲渡された領地のうち、北緯36度30分以北の全地域においては、本法令によって定められた州に含まれる土地を除き、奴隷制及び強制労働は、当該者が正式に有罪の判決を受けて服役している以外には、本法によって永久に禁止される。

(資料出所はいずれも省略する。)

IV 次の文章を読んで、以下の問14、問15に答えなさい。解答はすべて〔解答用紙B〕の所定の欄に記述しなさい。

慶應みらい君は、1918年に起きた米騒動について学び、そして、その直後に成立した原敬内閣において日本の食糧自給に関する諸政策の実施が決まったことを知りました。みらい君は、その頃の日本がどこから米を移入(*)または輸入しているのかに関心をもち、調べてみると、主な移入先が朝鮮で、主な輸入先が英領インドと仏領インドシナだと分かり、日本の前年の米穀生産量の推移と合わせて、第6図を作成してみました。さらに、英領インドと仏領インドシナの米輸出状況に関する資料aを見つけたので、みらい君は、この図と資料から何が読みとれるのか考えてみることにしました。皆さんも一緒に考えてみましょう。みらい君は、慶應義塾大学経済学部に入學したら、先行研究をもっと読み、日本内外の史料やデータを集め、統計的手法も学んで、この問題についてさらに深く考えてみたいとワクワクしています。

(*)移出・移入は国内におけるモノの移動に対して使用する語であり、外国貿易における輸出・輸入と区別される。



〔資料出所〕大豆生田稔「米騒動前後の外米輸入と産地」『東洋大学文学部紀要・史学科編』43(2017年)より作成。

資料a (必要に応じて表現を改めた)

サイゴン米は従来その輸出を禁止し又は制限したることなかりしが、大正7-8(1918-19)年の米作十分なる豊収を見るあたわざりし時にあたり、世界的糧食不足による各地よりの需要増加し、輸出を自然に放任せば域内における米価を騰貴せしむるのみならず、無制限なる輸出はついに一般住民の消費米を空乏せしむる恐れあり。(中略) 仏領インドシナ総督は(中略)大正8(1919)年2月以降毎月6万トンの米穀(白米および^{もみ}粉)に対し特許主義により輸出を許可し(中略)たり。(中略)9月以降は絶対的米の輸出を禁止したり。(中略)

1918年(中略)7、8月の交約1ヶ月にわたる大干魃によりインドにおける農作物の不作により国内の食糧品大払底を告ぐるにおよび、インド政庁は食糧管理に関する官制を發布し、一時米穀の輸出を絶対に禁止したりしが、その後再び(中略)輸出許可を与えたり後同年11月初旬以降は全然絶対に輸出を禁止せり。ビルマにおいてはインド、セイロンおよび海峡植民地に対しても月額を定め特許主義によりて輸出することをえたり。

〔資料出所〕農商務省『外米ニ關スル調査』大正9(1920)年3月。

問14 みらい君は、第6図に示された1910年から1919年までの時期の動きをみて、外国からの輸入量と日本の前年生産量との間に何らかの関係があると考えました。あなたは、みらい君が第6図からどのような関係を読みとったと考えますか。〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

問15 みらい君は、第6図に示された1920年以降の動きをみて、資料 a に記されている状況が1920年以降の日本の米移入・輸入量に影響を与えたのではないかと考えました。これについて、あなたは、みらい君が第6図と資料 a からどのような影響を読みとったと考えますか。問14で読みとった関係に触れながら、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。